

第5次白潟地区 地域福祉活動計画

〔実施期間 2019年度～2023年度〕

白潟地区 3,000 人の声を拾って、
『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

2019年3月 策定

白潟地区社会福祉協議会

目次

1. はじめに 白潟地区社会福祉協議会 会長 本田定裕	P 1
2. 白潟地区の概要	P 2, 3
3. 第4次〔2014年度（平成26年度）～2018年度（平成30年度）〕 白潟地区地域福祉活動計画の評価	P 4
4. 白潟地区の現状と今後の課題	P 5
5. 「地域の支えあいアンケート」実施結果	P 5
6. 第5次（2019年度～2023年度） 白潟地区地域福祉活動計画書	P 6
7. 第5次白潟地区地域福祉活動計画の策定委員	P 7
8. 第5次白潟地区地域福祉活動計画の検討状況	P 8
〔添付資料〕 「地域の支えあいアンケート」	別冊

1. はじめに

平成 12 年（2000）に介護保険法が施行され、「介護」が家族・個人の問題から社会の問題となり、高齢社会を社会全体で支える仕組みへと変化しました。そして平成 18 年（2006）には介護予防を進めるため「地域包括支援センター」が設置され、平成 24 年（2012）には高齢者が地域で自立した生活が送れるように、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供することを目標に「地域包括ケアシステム」がスタートしました。さらに平成 27 年（2015）の介護保険法の改正により介護サービスとご近所のつながりの両立をうまく組み合わせて、介護保険施行前にはあった「地域の支え合い」を改めて構築し、上手に地域で暮らすことが目標となりました。

このような時代の流れの中、全市的に各公民館単位で福祉計画の策定が求められ、白潟地区では平成 13 年度（2001）より第 1 次地区社会福祉活動計画が策定され、平成 30 年度まで 4 度にわたって計画が更新されてまいりました。各次の活動計画ではその取り組み課題が多岐にわたっており、いくつかの取り組みは達成できたものの、地域の状況が変わる中、多くの課題を先送りにしてきた感は否めない状況でした。その反省の上に立って、全市的にも第 5 次計画策定においては、「シンプルで達成可能な目標設定」を基本的柱として取り組むこととなりました。

白潟地区においては、第 5 次計画を策定するにあたって、地区内で暮らすできるだけ多くの皆様のご意見・お考えをもとに計画を策定することとし、地区内全世帯対象のアンケートを実施させていただき、その結果を基にこれから 5 年間にわたる「第 5 次白潟地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。この計画の目標として『お互いさまの白潟福祉まちづくり』を設定いたしました。計画を進めるにあたって、地区内の町内会が核となり、「つかず離れずのご近所付き合い」が「安心して暮らせる」町づくりにつながることは間違いありません。今後とも地区内の各組織と連携しながら進んでまいりたいと思います。

この計画策定にあたって、ご尽力いただきました策定実行メンバーの皆様をはじめ、アンケートにご協力いただきました各町内会長様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 31 年（2019） 3 月

白潟地区社会福祉協議会
会長 本田定裕

2. 白潟地区の概要

白潟地区は松江藩開府以前から水運の拠点として栄え、松江市の中心市街地として発展を続けるとともに、水の都・松江「宍道湖・大橋川」の沿川に位置する美しい景観や、多く神社・仏閣もあり、立地環境に恵まれた地区で、城下町としての風情を残しています。

しかしながら、郊外大型店舗への変化等により商店街が衰退するとともに、少子高齢化によるドーナツ化現象から人口減少が進むとともに、現在進捗している大橋川拡幅工事に伴い、白潟地区の町づくりも大きな変貌を迎えようとしています。

このような環境下において、地区高齢化率も36.29%と高い状況が続いているとともに、特に最近では食材や日用品を買える店が少なくなったという声も多く聞かれますが、住み慣れた地域で、いつまでも「安心・安全」に暮らしていくことが出来るまちづくりに引き続き取り組む必要があり、今は「支える側」であっても、いずれは「支えられる側」になることを意識・考えながら、住民同士が互いに支え合うことが重要になって来ています。

(1) 人口

白潟地区	H8 H9.3.31	H11 H12.3.31 (対前年)	H13 H14.3.31 (対前年)	H16 H17.3.31 (対前年)	H21 H22.3.31 (対前年)	H25 H26.3.31 (対前年)	H29 H30.3.31 (対前年)
人口	3,912	3,695 ▲217	3,811 ▲116	3,628 ▲183	3,387 ▲241	3,229 ▲158	3,078 ▲151
65歳以上人口	1,045	1,078 +33	1,118 +40	1,140 +22	1,161 +21	1,145 ▲16	1,117 ▲28
世帯数	1,651	1,634 ▲17	1,720 +86	1,716 ▲4	1,664 ▲52	1,682 +18	1,664 ▲18
高齢者世帯数	770	784 +14	806 +22	823 +17	579 ▲244	611 +32	614 +3
高齢化率(%)	26.71	29.17 +2.46	29.34 +0.17	31.42 +2.08	34.28 +2.86	35.46 +1.18	36.29 +0.83
〔松江市大〕	16.25	17.77	18.91	20.28	24.17	25.75	28.83
一人暮らし 高齢者数	(184)	(210) +26	(208) ▲2	(294) +86	368 +74	412 +44	417 +5

【出典】松江市高齢者人口等統計表より

() 内は第4次白潟地区地域福祉活動計画より

(2) 社会資源

項目	対象施設
買物できる所	天神町商店街, 白潟本町商店街, マルマン豎町, みしまや本郷, ローソン・ポプラ, セブンイレブン, ファミリーマート 等
金融機関	山陰合同銀行本店, みずほ銀行, 米子信用金庫,
郵便局	白潟本町郵便局, 嫁島郵便局
警察署・交番	松江警察署, 駅前交番
公共施設	集会所(和多見町, 灘町, 幸町, 横浜町, 県営幸町団地), 白潟公民館, まめな館, いっぷく亭, スティックビル, 県立美術館, 神社6件, 寺25件
公共交通機関	市営バス, 一畑バス
教育機関	中央小学校, 第三中学校, 中央幼稚園, 白潟保育所, 袖師保育所, 中央児童クラブ
医療機関	佐藤内科, 山尾内科, 小林医院, 福間内科, 桑原整形, ひとみ歯科, 四方歯科, 勝部歯科, 大町歯科, 釜瀬クリニック 等
高齢者福祉施設	幸町デイサービス, 敬愛苑, ケアセンター咲花
児童福祉施設	白潟保育所, 袖師保育所
障がい者, その他福祉施設	江友, まるべりー天神(桑友), こだま

(3) 地区内の組織・関係団体(順不同)

団体名	団体名
1 白潟地区社会福祉協議会	16 白潟地区人権教育推進協議会
2 白潟地区町内会連合会	17 白潟地区市民憲章推進協議会
3 白潟公民館運営協議会	18 白潟地区青少年健全育成協議会
4 白潟地区民生児童委員協議会	19 白潟地区子ども会育成会連絡協議会
5 白潟地区福祉推進員の会	20 小中一貫教育地域推進協議会
6 白潟老人クラブ連合会	21 中央子ども広場運営委員会
7 白潟地区防災会議	22 白潟地区体育協会
8 白潟地区災害対策本部	23 白潟健康まつえ21推進隊
9 白潟地区自主防災隊連合会	24 白潟地区保健協力員
10 白潟地区地域安全推進員会	25 更生保護女性会
11 白潟青色パトロール隊	26 白潟遺族会
12 松江駅前交番連絡協議会	27 天神町ふれあいプラザ運営協議会
13 白潟地区交通安全対策協議会	28 松江警察署少年補導委員
14 白潟地区交通安全協会	29 母子保健推進員
15 松江市交通指導員	30 生活環境保全推進員

3. 第4次（2014年度～2018年度）白潟地区地域福祉活動計画の評価

〔計画概要〕

（1）ふれあう，交流する

- ① 誰もが参加しやすい「なごやか寄り合いづくり」
- ② 住民同士の声かけで気軽に行きやすい「交流の場づくり」
- ③ 教育機関と地域の連携強化による「世代間交流」

（2）知る，学ぶ

- ① 健康まつえ21推進隊，保健協力員等による「健康づくり」

（3）見守り，支え合い

- ① 声かけ，見守り等による「暮らしやすいまちづくり」
- ② 保育所，母子保健協力員等との連携による「子育て支援」
- ③ 地区内の実態把握により「災害時の支援体制づくり」

（4）広める，伝える

- ① 広報誌を充実させ「白潟地区社会福祉協議会の知名度づくり」

（5）組織の充実

- ① 関係機関と連携し「生活課題の把握につながる仕組みづくり」

〔実施状況〕

- ★ なごやか寄り合い事業は現在9箇所（17町内会・自治会）で実施されており，住民にとって一番身近な「交流の場」として定着しており，大いに評価できる活動である。
また，活動がマンネリ化しないよう，地区内のなごやか寄り合い担当者（福祉推進員，民生児童委員等）が一堂に会して情報交換する等工夫しているが，更なる活動の活発化を図る必要がある。
- ★ 災害時の円滑な支援を図るため，福祉推進員と民生児童委員を中心として，地区全体での友愛訪問活動および日常からの声かけ，見守り活動を展開しているが，更に幅広い白潟地区住民による支え合い活動が課題である。
- ★ 松江市では，独居高齢者，障がい者等の要配慮者の方が，住みなれた地域で，いつまでも安心・安全に暮らしていけるよう，支援組織を自治会単位を基本に設置し，平常時から最新情報の共有化を図り，具体的な支援活動（見守り，生活支援等）を行うことにより，災害時へと繋げていく「松江市要配慮者支援推進事業」が実施されているが，白潟地区においては2町内会（灘町，横浜町）のみが取組み中であるため，更なる展開を図る必要がある。
- ★ 白潟地区内の関係団体が一層の連携を図り，住民が安心・安全に暮らしていけるよう，平常時・災害時の支援体制として「白潟地区防災会議」設立し，地域コミュニティ（共助）を積極的に推進することにより，白潟地区の防災力を高める取り組みを展開中であるが，白潟地区社会福祉協議会等も，引き続き活動支援を図る必要がある。

4. 白潟地区の現状と今後の課題

現在、高齢化率は36.29%であり、高齢者への取組みは重要な課題の一つである。

特に、近年は全国大で災害（地震、台風、豪雨等）が多発しているため、白潟地区においても災害時における独居高齢者、障がい者等の要配慮者の方への支援体制を強化する必要がある。

また、町内会・自治会および地区関係団体での役員後継者不足が著しいため、特定の方が多くの役職に就任している実態となっているが、出来るだけ「一人一役」を目指して役割分担するとともに、白潟地区全員の協力による「声かけ、見守り」等の支え合い活動が必要である。

このような現状を踏まえて、2019年度以降の地域福祉活動計画を実施するに当たっては、各町内会・自治会および民生児童委員・福祉推進員等をはじめ、地区関係団体と更なる連携強化を図るとともに、白潟地区住民の一層の参画が得られるよう取り組んで行かなければならない。

5. 「地域の支えあいアンケート」実施結果

第5次白潟地区地域福祉活動計画を策定するに当たり、次の項目に対して白潟地区の住民がどのようなご意見をお持ちなのか調査するため、町内会・自治会に加入されている全世帯（1,086世帯）を対象として実施した。

- ① ご近所との付き合いやかかわり
- ② 地域活動への参加
- ③ 暮らしやすいまちづくり
- ④ 健康診断など
- ⑤ 健康づくり
- ⑥ 白潟地区あるいは各町内会・自治会における課題や問題など

アンケート結果において、次のような意見が多かった。

「交流の場づくりや、ふれあい行事を増やしてほしい。」

「見守り、声掛け活動を強化してほしい。」

「全国大で災害（地震、台風、豪雨など）が多発しているので、地域対応を強化してほしい。」

「食材を買い物できる近場のお店が少ない。」

「大橋川拡幅工事が進んでいるが、まちづくりを議論すべきである。」

「空き家が多いが、屋根瓦落下、防火、防犯、雑草繁茂などから対策を要する。」

「高齢化などで、町内会運営などの担い手が不足している。」

7. 第5次白潟地区地域福祉活動計画の策定委員

(1) 計画策定の主体組織

白潟地区社会福祉協議会

(2) 計画策定の組織・関係団体 (順不同)

団体名	団体名
1 白潟地区社会福祉協議会	15 白潟健康まつえ21推進隊
2 白潟地区町内会連合会	16 更生保護女性会
3 白潟公民館運営協議会	17 母子保健推進員
4 民生児童委員協議会	18 保護司
5 白潟地区福祉推進員の会	19 町内会長・自治会長
6 白潟老人クラブ連合会	20 中央小学校
7 白潟地区防災会議	21 第三中学校
8 白潟地区自主防災隊連合会	22 松江市健康福祉部保健センター (保健師)
9 白潟地区地域安全推進員会	23 松江市社会福祉協議会 (地域福祉課)
10 白潟地区交通安全対策協議会	24 中央地域包括支援センター
11 白潟地区交通安全協会	25 公民館
12 白潟地区人権教育推進協議会	
13 白潟地区市民憲章推進協議会	
14 白潟地区青少年健全育成協議会	

8. 第5次白濁地区地域福祉活動計画の検討状況

実施年月日	内 容	備 考
H30年 3月15日	第5次計画の策定方針（案）作成・協議	
H30年 4月 2日	第5次計画策定の進め方について協議	
H30年 4月 4日	第5次計画策定の進め方について協議	
H30年 4月11日	第5次計画策定のイメージ説明	白濁社協常任理事会
H30年 4月19日	第5次計画策定のイメージ説明	白濁社協総会
H30年 5月 2日	アンケート【住民用】（素案）作成	
H30年 5月 5日	アンケート【町内会長用】（素案）作成	
H30年 5月10日	アンケート（案）協議	
H30年 5月13日	アンケート（案）作成	
H30年 5月14日	アンケート説明会の案内文発信	
H30年 5月17日	アンケート内容決定	
H30年 6月 4日	アンケート【住民用，町内会長用】製本	
H30年 6月11日	アンケート内容【住民，町内会長用】説明	説明会（白濁社協）
H30年 7月23日	アンケート集計方法について協議	
H30年 7月24日	アンケート集計作業	
～		
H30年 9月30日		
H30年10月29日	アンケート集計の概要報告	
H30年10月30日	アンケート集計の概要報告	
H30年11月18日	アンケート評価	
H30年11月26日	アンケート報告用の資料作成	
H30年11月27日	第4次計画の評価	
H30年12月 3日	アンケート報告，第5次計画（案）協議	白濁社協三役
H30年12月19日	アンケート報告，第5次計画（案）中間説明	説明会（白濁社協）
H31年 1月23日	第5次計画（策定）	
H31年 2月18日	第5次計画（最終説明）	説明会（白濁社協）
H31年 3月 1日	第5次計画（印刷）	
H31年 3月31日	地区社協（含む町内会・自治会）計画書配布	
H31年 4月 1日	第5次計画（スタート）	

第5次白潟地区地域福祉活動計画書〔実施期間 2019年度～2023年度〕

【福祉目標】 白潟地区3,000人の声を拾って、『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

区分	活動名	目標	段階	具体的な取り組み内容	実施結果	実施団体
充実	声かけ、見守り活動	住民が孤立せずに、いつでも相談相手がいるという支援体制により、住み慣れた白潟地区でいつまでも安心・安全に暮らしていただける町づくりをする。	①	地域（町内会・自治会）における現状の支援体制を再点検（民生児童委員、福祉推進員、町内会・自治会等）し、一層の幅広い白潟地区住民（組織、個人）による支え合いにつなげる。		白潟地区社会福祉協議会 白潟地区民生児童委員協議会 白潟地区福祉推進員の会 白潟地区町内会連合会 町内会・自治会 白潟公民館運営協議会 白潟老人クラブ連合会 白潟地区防災会議 白潟地区自主防災隊連合会 白潟公民館 松江市社会福祉協議会 地域包括支援センター 地域住民（ボランティア）
			②	地域（町内会・自治会）の支援関係者により、現状の問題点・改善点について整理する。		
			③	地域（町内会・自治会）における高齢者（独居・夫婦）や障がい者等の支援を要する方の実態を把握し、一覧表で取りまとめる。		
			④	地域（民生児童委員、福祉推進員、町内会・自治会等）で対応（日、月、年）できる支援内容を協議し取りまとめる。		
			⑤	「ながら見守り」等の気軽な声かけ、見守り活動を拡大する。〔向う三軒両隣や各組内での身近な方による、一寸した気遣い（電気が付いていない、新聞が取り込まれていない等）〕		
			⑥	白潟地区社協主催で、年4回の友愛訪問を白潟地区大で実施する。 【春・秋】中央小学校児童のメッセージ等も持参する。 【夏・冬】第三中学校生徒のメッセージ等も持参する。		
			⑦	「訪問メモ」的な様式を作成しておき、声かけ、見守り活動の中で、特に留意する事項があれば記録し、民生児童委員等と連携を図る。		
			⑧	支援を要する方の「緊急連絡先カード」を白潟地区統一様式として作成し、屋内（冷蔵庫）等に貼付しておく。		
			⑨	地域（町内会・自治会）の支援者全員による定期的（毎月とか年1回とか）な意見交換の場を設定し、現状の情報共有化を図る。なお、個人情報保護の観点から情報共有できる範囲内での取り組みとする。		
			⑩	白潟地区社協主催で、地域（町内会・自治会）の支援者（民生児童委員、福祉推進員、町内会・自治会等）に一堂に会していただき、取り組みの問題点・改善点等について意見交換する。		
			⑪	白潟地区社における「声かけ、見守り活動」における取り組み状況等について、地域住民に広報（福祉だより等）し、幅広い住民での支援活動につなげる。		
			⑫	「松江市要配慮者支援推進事業」に取り組む。		
充実	交流の場づくり 〔各町内会・自治会〕	「なごやか寄り合い」は、住民にとって一番身近な交流の場として定着しているが、更なる活動の活性化を図り、引きこもり防止を図る。	①	地域のなごやか寄り合い担当者（福祉推進員、民生児童委員等）が一堂に会して情報交換し、更なる活動の活発化を図る。		白潟地区社会福祉協議会 白潟地区民生児童委員協議会 白潟地区福祉推進員の会 白潟地区町内会連合会 町内会・自治会 白潟公民館運営協議会 白潟老人クラブ連合会 白潟公民館 松江市社会福祉協議会 地域包括支援センター 地域住民（ボランティア）
			②	白潟地区以外での取り組み状況等についても積極的に情報提供する。		
			③	「松江市総合事業通所型サービスB」へ登録しての活動を目指す。		
新規	交流の場づくり 〔白潟地区〕	白潟地区の拠点である公民館を開放し、住民が集ってくつろげる場を提供する。	①	公民館（2階図書室）をサロンとして開放し、気楽な「おしゃべりの場」を提供する。		白潟健康まつえ21推進隊 白潟地区保健協力員 スポーツ推進委員

『第5次白潟地区地域福祉活動計画』策定資料

「地域の支えあい」アンケート(住民用)集計表

このアンケート調査は、白潟地区社会福祉協議会が中心となって取り組んでいる、今後の「白潟地区地域福祉活動計画」の策定にあたり、白潟地区住民にとって「住みよいまちづくり」とはどのようなものかを、この活動計画に反映するために実施するものです。

このアンケートによって得られた結果は、「白潟地区地域福祉活動計画」を策定し、白潟地区の「住みよいまちづくり」活動以外の目的には使用いたしません。

また、このアンケート調査は「無記名」としていますが、引き続き、個人のプライバシー保護にも万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただきご協力頂きますようお願い致します。

2018年12月19日

白潟地区社会福祉協議会

あなた自身のことについてお尋ねします

問1 あなたの住んでいる地域は、どちらですか。(ひとつに○) [回答数 計585人]

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 和多見町 [72人] | 7. 北寺町 [49人] | 13. 横浜町 [61人] |
| 2. 八軒屋町 [2人] | 8. 南寺町 [35人] | 14. 袖師・嫁島 [11人] |
| 3. 白湍本町 [15人] | 9. 万代町 [21人] | 15. 幸北 [4人] |
| 4. 魚町 [14人] | 10. 昭和町 [19人] | 16. 県営1号棟 [24人] |
| 5. 灘町 [86人] | 11. 人参方 [15人] | 17. 県営2号棟 [25人] |
| 6. 天神町 [44人] | 12. 幸町 [88人] | |

問2 あなたの性別は、どちらですか。(ひとつに○)

	回答数	構成比
1. 男性	239	40.9%
2. 女性	327	55.9%
[無回答]	19	3.2%
計	585	100.0%

問3 あなたの年齢をご記入ください。 満()歳

	回答数	構成比	
1. 19歳以下(～19歳)	0	0.0%	} 23.0%
2. 20歳代(20歳～29歳)	2	0.3%	
3. 30歳代(30歳～39歳)	17	2.9%	
4. 40歳代(40歳～49歳)	45	7.7%	} 21.2%
5. 50歳代(50歳～59歳)	71	12.1%	
6. 60歳代(60歳～69歳)	124	21.2%	} 51.2%
7. 70歳代(70歳～79歳)	170	29.1%	
8. 80歳代(80歳～89歳)	115	19.7%	
9. 90歳以上(90歳～)	14	2.4%	} 4.6%
[無回答]	27	4.6%	
計	585	100.0%	100.0%

問4 あなたの家族構成を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

	一世代	二世代	三世代	四世代	回答数計	構成比
	回答数	回答数	回答数	回答数		
1. 配偶者(妻・夫)	151	125	41	3	320	38.4%
2. 子供		173	49	5	227	27.2%
3. 孫		1	24	4	29	3.5%
4. 父親		10	7	1	18	2.2%
5. 母親		36	22	5	63	7.5%
6. 祖父		1	1		2	0.2%
7. 祖母		1	1	1	3	0.4%
8. 兄弟姉妹		8	3		11	1.3%
9. 独身	114				114	13.7%
10. 単身赴任	1				1	0.1%
11. その他	1	1	1		3	0.4%
〔無回答〕					43	5.1%

			回答数	構成比
【一世代のみ】	配偶者	回答者70歳以上	97	16.6%
		回答者69歳以下	54	9.2%
	独身	回答者70歳以上	72	12.3%
		回答者69歳以下	42	7.2%
	単身赴任	回答者70歳以上		
		回答者69歳以下	1	0.2%
	その他	回答者70歳以上	1	0.2%
		回答者69歳以下		
【二世代家族】	配偶者と子または孫	回答者70歳以上	45	7.7%
		回答者69歳以下	65	11.1%
	配偶者と親または祖父母	回答者70歳以上	4	0.7%
		回答者69歳以下	11	1.9%
	回答者と子	回答者70歳以上	38	6.5%
		回答者69歳以下	16	2.7%
	回答者と父母または祖父母	回答者70歳以上	4	0.7%
		回答者69歳以下	20	3.4%
	回答者と兄弟姉妹	回答者70歳以上		
		回答者69歳以下	3	0.5%
その他	(三世代以上含)	回答者70歳以上	24	4.1%
		回答者69歳以下	39	6.7%
無回答		回答者70歳以上	9	1.5%
		回答者69歳以下	4	0.7%
年齢無回答			36	6.1%

問5 現在のあなたの職業はどれに当たりますか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 学生	1	0.2%
2. 会社員	96	16.4%
3. 自営業	99	16.9%
4. 主婦	70	12.0%
5. 公務員	10	1.7%
6. 農業	0	0.0%
7. 漁業	1	0.2%
8. アルバイト	30	5.1%
9. 無職	209	35.7%
10. その他	41	7.0%
〔無回答〕	28	4.8%
計	585	100.0%

ご近所との付き合いやかかわりについて

問6 あなたは、ご近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。(ひとつに○)

	回答数	構成比
付き合いが		
深い		
↑		
1. 何か困ったときに助け合えるような親しい人がいる	137	23.4%
2. お互いに訪問しあう人がいる	82	14.0%
3. 立ち話のできる人がいる	211	36.1%
4. あいさつを交わす程度の人がいる	102	17.5%
↓		
5. ほとんど付き合いがない	20	3.4%
浅い		
6. 近所にどんな人が住んでいるかわからない	3	0.5%
7. その他	2	0.3%
〔無回答〕	28	4.8%
計	585	100.0%

問7 あなたは、ご近所とのかかわりを深めたいと思いますか。(ひとつに○)

	回答数	構成比
1. もっと親しくなりたい	68	11.6%
2. 今のままでよい	477	81.5%
3. あまり、かかわりたくない	18	3.1%
4. その他	3	0.5%
〔無回答〕	19	3.3%
計	585	100.0%

問8 あなたが困っているときに、ご近所の方に「お願いしたい」と思ったことがありますか。(ひとつに〇)

	回答数	構成比
1. ある	218	37.2%
2. ない	342	58.5%
〔無回答〕	25	4.3%
計	585	100.0%

実際にお願いしましたか。

	回答数	構成比
1. お願いした	163	74.8%
2. お願いしなかった	48	22.0%
〔無回答〕	7	3.2%
計	218	100.0%

問9 あなたは、ご近所で高齢者や子供、障がいをお持ちの人、子育て等で手助けが必要な人がいたらどうしますか。(あてはまるもの全てに〇)

	回答数	構成比
1. 自分でできることを探して手助けする	177	18.2%
2. 近所の人と一緒に手助けする	227	23.3%
3. 行政機関等から協力を頼まれれば手助けする	109	11.2%
4. 本人から手助けを求められれば手助けする	316	32.4%
5. 手助けしたいがなかなかできない	88	9.0%
6. 関わりたくないなので、手助けしない	12	1.2%
7. 他人が手を出す必要はない	10	1.0%
8. その他	15	1.5%
〔無回答〕	21	2.2%
計	975	100.0%

地域活動への参加について

問10 あなたが参加・活動している地域団体はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 町内会活動	267	26.6%
2. なごやか寄り合い	140	14.0%
3. 高齢者クラブ	39	3.9%
4. スポーツ活動	47	4.7%
5. 福祉活動	34	3.4%
6. 環境美化活動	75	7.5%
7. 交通安全活動	22	2.2%
8. 防犯活動(見守り活動)	24	2.4%
9. 防災活動	52	5.2%
10. 公民館活動	89	8.9%
11. その他	24	2.4%
12. 特に参加・活動していない	173	17.3%
〔無回答〕	15	1.5%
計	1,001	100.0%

暮らしやすいまちづくりについて

問11 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに不安を感じますか。
(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 自分の健康に関すること	346	26.7%
2. 介護に関すること	190	14.7%
3. 仕事に関すること	87	6.7%
4. 人間関係に関すること	48	3.7%
5. 将来のこと	171	13.2%
6. 住まいに関すること	109	8.4%
7. 親や子供に関すること	99	7.6%
8. 災害に関すること	203	15.7%
9. その他	20	1.5%
〔無回答〕	23	1.8%
計	1,296	100.0%

問12 あなたは、生活をするうえで、不便なこと、困っていることはありますか。
 (あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 買物	82	8.1%
2. 炊事・食事	21	2.1%
3. 洗濯	4	0.4%
4. 掃除	25	2.5%
5. 通院	14	1.4%
6. ゴミだし	23	2.3%
7. 草取り	53	5.2%
8. 庭木の剪定	35	3.4%
9. 除雪	86	8.5%
10. 入浴	9	0.9%
11. 歩行	34	3.3%
12. 外出	22	2.2%
13. 介護	25	2.5%
14. 物忘れ	26	2.5%
15. 話し相手	7	0.7%
16. 子育て	7	0.7%
17. 趣味	5	0.5%
18. 小修繕	56	5.5%
19. 電球交換	17	1.7%
20. 健康づくり	26	2.5%
21. 寂しさ・不安	11	1.1%
22. 郵便物の処理	6	0.6%
23. 不審な電話	40	3.9%
24. 訪問販売	11	1.1%
25. 近所付き合い	15	1.5%
26. 災害時の支援	49	4.8%
27. 相談先が分からない	17	1.7%
28. その他	13	1.3%
29. 特にない	212	20.9%
〔無回答〕	63	6.2%
計	1,014	100.0%

問13 あなたは、困ったとき、だれに相談したいですか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 家族	423	34.7%
2. 親戚	180	14.8%
3. 近所の人	105	8.6%
4. 友人・知人	228	18.7%
5. 町内会長・自治会長	40	3.3%
6. 民生児童委員	23	1.9%
7. 福祉推進員	17	1.4%
8. 医師	64	5.2%
9. 保健師	1	0.1%
10. 社会福祉協議会	13	1.1%
11. 地域包括支援センター	34	2.8%
12. ホームヘルパー	6	0.5%
13. ケアマネージャー	33	2.7%
14. 相談できる人がいない	14	1.1%
15. その他	13	1.1%
〔無回答〕	24	2.0%
計	1,218	100.0%

問14 あなたは、問12の困りごとについて、地域に有償ボランティア〔金額は出来るだけ安価とする。〕があれば利用したいと思いますか。(ひとつに〇)

	回答数	構成比
1. 利用したい(問12の困りごと番号)	124	21.2%
【内訳】 1. 買物	11	4.9%
2. 炊事・食事	7	3.1%
3. 洗濯	2	0.9%
4. 掃除	9	4.0%
5. 通院	6	2.7%
6. ゴミだし	3	1.4%
7. 草取り	19	8.5%
8. 庭木の剪定	22	9.9%
9. 除雪	34	15.3%
10. 入浴	4	1.8%
11. 歩行	4	1.8%
12. 外出	3	1.4%
13. 介護	4	1.8%
14. 物忘れ	2	0.9%
15. 話し相手	1	0.4%
16. 子育て	4	1.8%
17. 趣味	1	0.4%
18. 小修繕	34	15.3%
19. 電球交換	6	2.7%
20. 健康づくり	6	2.7%
21. 寂しさ・不安	5	2.2%
22. 郵便物の処理	0	0.0%
23. 不審な電話	2	0.9%
24. 訪問販売	1	0.4%
25. 近所付き合い	2	0.9%
26. 災害時の支援	17	7.6%
27. 相談先が分からない	2	0.9%
28. その他	6	2.7%
〔無回答〕	6	2.7%
計	223	100.0%
2. 家族に依頼するので必要ない	203	34.7%
3. 近所に依頼するので必要ない	5	0.9%
4. その他	43	7.3%
〔無回答〕	210	35.9
計	585	100.0%

問15 あなたは、今後、話し相手を見つけたり、仲間づくりのために利用したい交流の場は どれですか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. なごやか寄り合い	137	17.3%
2. 町内会の行事	165	20.8%
3. 介護予防・健康教室	74	9.3%
4. 介護施設など	28	3.5%
5. 公民館のサークル	77	9.7%
6. その他	40	5.0%
7. 特になし	223	28.1%
〔無回答〕	50	6.3%
計	794	100.0%

問16 暮らしやすいまちづくりについて、私たちが取り組むべきことは何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 高齢者・障がいをお持ちの人等の 訪問・見守り活動(安否確認)	236	14.9%
2. 住民間の交流を目的とした行事、居場所づくり	168	10.6%
3. 健康づくり活動(講演会、健康診断、体力づくり)	142	9.0%
4. 福祉についての講演・学習会	46	2.9%
5. 福祉に関する情報発信(福祉だより等)	73	4.6%
6. 防災活動(平常時・災害時)	166	10.5%
7. 防犯活動(パトロール等)	111	7.0%
8. 交通安全活動(交通安全教室等)	39	2.4%
9. 住民同士のマナーの向上	94	5.9%
10. 地域活動に携わる人の育成	74	4.7%
11. 環境美化活動	85	5.4%
12. 地域内の関係団体間での連携強化	38	2.4%
13. 住民有志による困り事の助け合い	88	5.6%
14. 困り事相談窓口の設置	94	5.9%
15. その他	11	0.7%
16. 特になし	63	4.0%
〔無回答〕	55	3.5%
計	1,583	100.0%

問17 あなたは、上記の「暮らしやすいまちづくり」活動等に参加（出席・活動協力）しようと思いますか。（ひとつに○）

	回答数	構成比
1. 積極的に参加（出席・活動協力）したい	36	6.1%
2. 取組み内容によって参加（出席・活動協力）したい	414	70.8%
3. 参加したくない	77	13.2%
〔無回答〕	58	9.9%
計	585	100.0%

問18 問17で「参加したくない」と回答された方は、その理由を記載してください。

【P15～P17に記載】

高齢者（満70歳以上）の方にお聞きします … 該当者がおられない場合は回答不要です

問19 あなたは、「暮らしやすいまちづくり」のために、地域〔白潟地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。（ご自由に記入下さい。）

【P17～21に記載】

障がいをお持ちの方にお聞きします … 該当者がおられない場合は回答不要です

問20 あなたは、「暮らしやすいまちづくり」のために、地域〔白潟地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。（ご自由に記入下さい。）

【P21～22に記載】

小学生・中学生・高校生の方にお聞きします … 該当者がおられない場合は回答不要です

問21 あなたは、「暮らしやすいまちづくり」のために、地域〔白湊地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 居場所づくり（公民館、町内会館・自治会館等）	17	13.5
2. ミニ図書館（本がたくさん読める場所）	13	10.3
3. 遊べる場所（グラウンド、公園、広場、空き地等）	29	23.0
4. 自然（穴道湖、大橋川、天神川、白湊公園、岸公園等）とのふれあい	22	17.4
5. 地域の方との交流行事（例えば ）	5	4.0
6. 防犯活動（見守り、パトロール等）	21	16.7
7. 交通安全活動（交通安全教室等）	6	4.8
8. なんでも相談窓口	10	7.9
9. その他（ご自由に記入下さい）	3	2.4
計	126	100.0%

健康診断等について

問22 あなたの家族で、35歳以上の方は健康診断・がん検診を受けていますか。(ひとつに○)

	回答数	構成比
1. 全員が、毎年受けている	246	42.1%
2. 全員が、毎年か数年毎に受けている (年に1回程度)	85	14.5%
3. 受けていない者もいる	98	16.8%
① 65歳以上の方	40	40.8%
② 64歳以下の方	39	39.8%
〔無回答〕	19	19.4%
4. 全員が、受けていない	44	7.5%
5. その他	23	3.9%
〔無回答〕	89	15.2%
計	585	100.0%

問23 問22で「受けていない」方がいると回答された方は、その理由は何ですか。
 (あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 健康に自信がある	10	5.1%
2. 病院に定期受診している	63	31.8%
3. 結果が不安なため受けたくない	11	5.6%
4. 受ける方法が分からない	3	1.5%
5. 健診費用が負担になる	12	6.1%
6. 場所が遠い	2	1.0%
7. 時間がない	27	13.6%
8. 面倒だから	24	12.1%
9. 受ける必要性を感じない	14	7.1%
10. 忘れていた	6	3.0%
11. その他	10	5.0%
〔無回答〕	16	8.1%
計	198	100.0%

問24 健康診断に関する情報はどこから得られましたか。
 (あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 市報	259	26.3%
2. 健診のお知らせ(松江市, 白湯公民館)	278	28.2%
3. 広報車(松江市, 白湯公民館)の呼びかけ	21	2.1%
4. 民生児童委員・福祉推進員からの声かけ	2	0.2%
5. 町内会・自治会からの声かけ	7	0.7%
6. かかりつけ医からの声かけ	109	11.0%
7. 友人からの誘い	6	0.6%
8. 健康受診券の案内	182	18.5%
9. その他	53	5.4%
〔無回答〕	69	7.0%
計	986	100.0%

健康づくりについて

問25 あなたは、健康づくりとして、今後どのような取り組みが良いと思われますか。
(あてはまるもの全てに○)

	回答数	構成比
1. 「健康まつえ21推進隊」の活動 (検診, 運動, 健康講座)回数を増やす	84	10.6%
2. 検診の受診率を高くする	162	20.4%
3. 毎週等の健康ウォーキングを開催する	70	8.8%
4. 毎朝等のラジオ体操を開催する	50	6.3%
5. 減塩食事の体験会を開催する	52	6.5%
6. 健康講演会を開催する	59	7.4%
7. 健康に関するチラシ等を配布する	88	11.1%
8. 公民館で開催しているサークル活動を紹介する	48	6.0%
9. その他 〔無回答〕	28 154	3.5% 19.4%
計	795	100.0%

白潟地区内あるいは各町内会・自治会内の全般について

問26 お住まいの地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題として、どのようなことがあると思いますか。(ご自由に記入下さい。)

【P22～28に記載】

問27 お住まいの地域に対する良い点、悪い点、要望などご自由にお書きください。

【P29～37に記載】

【次頁以降】設問18, 19, 20, 26, 27(自由記述)の回答

問18 問17で「参加したくない」と回答された方は、その理由を記載してください。

(1) 多忙（勤務などの仕事関係）

- 1・参加はしたいと思うが、まだ働いているため何もできない。(女性・60代)
- 2・参加したくないというよりも仕事などが忙しく申し訳ないが参加できないという現状です。(女性・30代)
- 3・自営業のため時間が無い。(男性・80代)
- 4・仕事が多忙で時間的に不可。(女性・70代)
- 5・多忙。(女性・50代)
- 6・仕事があるので時間が無い。(女性・40代)
- 7・和多見町には仕事に来ているので参加出来にくい。(女性・70代)
- 8・仕事の都合です。(男性・50代)
- 9・仕事が忙しくて時間が無い。(女性・60代)
- 10・生活時間が合わない。昔からのやり方は尊重します。しかし、今不都合が起きているなら、やり方を変えるべき。土日・朝早い活動など論外なので止めてほしい。(男性・40代)
- 11・仕事などが忙しいため。(女性・50代)
- 12・仕事や子供の行事がとても忙しく、休日でも家にいることが少ない。今は自分たちのことで精一杯。(40代・男性)

(2) 多忙（介護などの家族関係）

- 1・現在、他の町内に住む親の介護が忙しい。(女性・60代)
- 2・母親の介護で時間的自由な時が無い。(女性・60代)
- 3・家をあけることができなくて、買い物やっとのため、夫の介護があるため、活動協力が中途半端になりそうで、自分が動ける間は家中で行動しようと思います。(女性・80代)

(3) 体調不良（高齢などの自身関係）

- 1・一人で出られない。耳が聞こえにくい。(女性・年齢無記入)
- 2・足が悪いので自由に動けないから。(女性・70代)
- 3・自分が他人様に迷惑をかけないようにするのが精一杯。(女性・80代)
- 4・88歳ですので参加出来ません。(女性・80代)
- 5・歩行困難にて特にできない。(女性・80代)
- 6・参加したくても体力・時間的に出来ません。(女性・70代)
- 7・足腰が悪い。(男性・80代)
- 8・身体の具合が思わしくなく、直ぐに疲れやすいので。(女性・80代)
- 9・歩行が少し不自由のため。(男性・80代)
- 10・足腰が痛くてできない。(男性・90代)
- 11・高齢(女性・90代)
- 12・自身に体力・能力が無い。(男性・80代)
- 13・高齢であるので、静かに暮らしたい。(男性・80代)
- 14・自分の気持ちが皆さんについていけないから。(男性・60代)
- 15・自身が障がいのため。(男性・70代)

- 16・老齢のため身体が十分に動かない。(男性・80代)
- 17・自分のことで精一杯。例えば、市道が傷んでいるといった、身の回りの情報を市役所へ伝えるといった程度の事はしたい。(男性・80代)
- 18・自分が高齢者だから活動はできない。(女性・80代)
- 19・高齢故。(男性・80代)
- 20・高齢になってくると何事も難しくなってゆく(男性・70代)
- 21・障害者がいて出にくいです。(女性・80代)
- 22・股関節が悪いため、協力できない。自分の身を守ることだけ。人様には、ご迷惑をかけないように心掛けています。(女性・80代)
- 23・腰、膝痛のため自由にする。(男性・80代)
- 24・要介護3で動けない。(女性・70代)
- 25・うつ病、引きこもりでヘルパーさんのお世話になっています。他の人と話したり、出かけたりは、したくありません。(女性・50代)
- 26・自分のことで精一杯。親の面倒をみなければならぬ。(男性・60代)
- 27・活動に参加する気持ちがあるものの、自分の体がついていかない。(男性・70代)
- 28・自分の家のこともできていないのに、他のことまで手が回らない。(女性・60代)
- 29・76歳となると、自分の体で精一杯です。私が人様に迷惑かけないようにすることです。(女性・70代)
- 30・72歳ですが、まだ高齢者と認めたくありません。自己の努力を自分自身に求めたいと思っております。過去に少年野球とか親子卓球等で指導者として地域社会の発展に努力したと思いますが、今は静かに生活したいとの思いが強いのですが。ただ今日の子どものたちの環境悪化には、心を痛めております。昔は貧しかったが周りの人と助け合っていたと思います。この面でご協力できることはないかと日頃考えています。(例：子ども食堂への支援、通学時の安全確保への支援等)(男性・70代)
- 31・車イスです。(男性・80代)
- 32・高齢者(男性・80代)
- 33・以前は一生懸命やりました。今は歳でやれません。(女性・80代)
- 34・高齢のため長時間の外出・活動は無理。(女性・90代)
- 35・体力に自信がないから。(女性・70代)
- 36・体力的。(女性・80代)

(4) 関わりたくない(付き合いなどの人間関係)

- 1・周りの方々と程よい距離で、何でも強制的ではなく、且つ参加しないと近所の方から余りよく思われぬという環境をやめてもらいたい。(男性・30代)
- 2・そもそも時間が取れないが、やりたい人はおやりになればよろしいかと。(女性・50代)
- 3・付き合いが面倒だ。(男性・70代)
- 4・お手伝いはしてもいいのですが人の生活を知りたくないわけです。(女性・80代)
- 5・近所とは一定距離を置いて付き合うほうが無難だから。(女性・70代)
- 6・あまり関わりたくない。(女性・80代)
- 7・近所に非常識で変わった人が多いので、必要最低限のお付き合いしかしたくない。(女性・40代)

(5) その他

- 1・参加したこともあったが、オナニエー的で役に立たない。(男性・50代)
- 2・ない。何となく。(女性・70代)
- 3・特に理由はない、余裕がない。(女性・60代)
- 4・今は色々することもあり、特に新たな活動は考えていない。(男性・60代)
- 5・精一杯(女性・60代)
- 6・難しいためよく分からない。(男性・60代)

高齢者(満70歳以上)の方にお聞きします … 該当者がおられない場合は回答不要です

問19 あなたは、「暮らしやすいまちづくり」のために、地域〔白潟地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。(ご自由に記入下さい。)

(1) 交流の場、ふれあい行事

- 1・交流の場づくり(男性・60代)
- 2・なごやか会など、町内行事をもう少し増やすこと。(お世話する人は大変だと思いますが)(男性・70代)
- 3・高齢者同士の交流場所。(女性・70代)
- 4・高齢者にも楽しめるイベントがあるといいと思います。スティックビルを使用した音楽活動、特に声を出して歌や軽いダンス等も良いのかな・・・と思います。(女性・70代)
- 5・長い間白潟地区で生活しているので、これ以上の生活を考えるてはいません。日々を満足しています。唯この頃は魚屋さんもスーパーも近くになく何かと不便となり楽しさもなくなり久しぶりに誰かと会うと云ふ驚きや楽しみがなくなりました。(女性・80代)
- 6・年寄りの集会所みたいな話をする場所がほしい。(女性・80代)
- 7・1か月に1回位おしゃべりしながらの食事会。(女性・70代)
- 8・住民間の交流。(男性・70代)
- 9・話しやすい場があれば良い(男性・70代)
- 10・住民の居場所づくり(女性・70代)
- 11・住民間の交流を目的とした活動、居場所づくり。(女性・70代)
- 12・健康セミナーの実施。(男性・70代)
- 13・近所、町内の会館の開放がされて自由に出入りして30分でも1時間でも気楽に会話できる場所にして欲しい。(女性・70代)
- 14・町内の人たちが気軽に集まれるような行事の企画(盆踊りのようなもの)どうすれば参加してくれるのか。現実には交流がありません。(高齢者も子供も参加できるものが良いです。)(男性・70代)
- 15・近隣の人たちとの気楽なおしゃべりの場が欲しい。(女性・40代)(女性・70代)
- 16・立ち寄ることが出来る居場所(女性・40代)(女性・70代)

(2) 見守り, 声掛け

- 1・見守り活動(男性・60代)
- 2・身体に不安がある等の理由で催しには参加しにくくなっていますが、「声かけ」などをしていただくのはありがたいです。(男性・50代)
- 3・健康管理。(男性・90代)
- 4・近所で声をかけあえる仲間づくり。(男性・30代)
- 5・一人暮らしの人、外へあまり出ない人に対し、定期的な訪問活動をし、話し相手になってあげるような体制ができればいいと思う。民生委員、福祉推進員さんの活動が目に見えない。(男性・70代)
- 6・ある程度、福祉に詳しい資格のある人、専門知識がある方が独り身宅や老夫婦宅を訪問し、助言・見守りして欲しい。(もちろん、年齢にかかわらず、現在、困っている人が対象)身体、お金のこと等、特に最近、孤独死が何日も過ぎてから発見されるのが他人事と思えないので早急の対策を望みたい(女性・70代)
- 7・一人世帯への感心を高めること。子どもを抱える家庭への支援仕組づくり。情報(不審者情報等)の共有化。(男性・70代)
- 8・近所に住む者が、度々頂き物などをおすそ分けしたりして、顔を見にのぞく(たずねる)ように私は心掛けていて喜んでもらっています。(女性・70代)
- 9・今現在、82歳の2人がまだ自分の事はできるので、つい隣近所の2人暮らしの介護を受けておられる方を心配しています。自分自身は、今は近所でつき合いは大切に思って声かけあっています。(女性・50代)

(3) 交通, 防災, 防犯, 土木

- 1・通路の側溝は通りの世帯すべてが利用するもので、これが不具合が発生すると床面の低い家では床下浸水することが何度もあったので、一人の世話する人に任せるのではなく、通り全体の利用する人が定期的に協力して、清掃なり気を付けて見回りなど行うように協力すべきだ。(男性・80代)
- 2・何かをして欲しいとは望みませんが道路だけは直して欲しいです。せっかくきれいな敷石道路になっても、がたがた出たりこげたりはがれたりして高齢者、足の悪い人にはひっかかったり転びそうになったり、歩道の中に電柱立ったり狭く、特に坂になっていて歩きにくいです。(女性・80代)
- 3・交通安全, 災害時の歩道確保。新大橋通り, 北寺町一部〔飲食店等歩道使用(ゴミ箱)〕(男性・70代)
- 4・避難の場合の手助け。(男性・80代)
- 5・安全なまちづくり(女性・80代)
- 6・会館は近くにありますが、いざ大雨で1階が水浸しになったら、会館は到底町内全員入れません。(女性・50代)
- 7・災害時、公民館避難が難しい。町内の交流がもう少し、しっかりしたものに協力してほしい。(男性・40代)
- 8・防災訓練を指導して欲しい。(女性・70代)
- 9・災害時の協力体制(女性・50代)

10・県営住宅～横浜町鉄道高架下道路を広げてもらいたい。デイサービスの車の出入り他交通量が増えた。消防車車両の利便性が悪い（男性・70代）

（4）町づくり，お店，買い物，空き家

- 1・地域内に小規模スーパーがほしい。（男性・80代）
- 2・例えば70歳以上や体の弱い方はタクシーチケットなどを出して買い物、病院に行けるようにしてあげると良いと思う。（女性・50代）
- 3・食品の店があるといい。（女性・70代）
- 4・特に食品の店が不足していますのでコンビニ等があれば良い。（男性・70代）
- 5・お年寄りが歩いて行けるお店（生鮮食料品等）があるといいと思う（女性・70代）
- 6・若い人の住める街づくり。（男性・70代）
- 7・現状は妻と買物に出かけることが出来ているが、足腰の痛みがあり、いつ出来なくなるのかと不安である。近くにスーパーもない。買物窓口を設け、日に二回程度の受託時間を設定して、対応してもらえば助かるのではないかと思う。（男性・70代）
- 8・商店またはスーパーが出来ればよいと思う。（女性・80代）
- 9・買い物が便利になるように出来るとよい。（女性・70代）
- 10・買い物が出来る場所がほしい（野菜など日用品も）（女性・70代）
- 11・生活用品、食品等小売販売店の回帰（近くで買い物が出来た。）（男性・70代）
- 12・空家も多く危険な場所もあるので点検してほしい。（女性・70代）
- 13・白潟地区は、もともと「暮らしやすいまち」でした。それは、地区内でいろいろ事が足りて、そこに人が集まり会話があり、つながりが深くなっていたからです。この地区から、「つるや」や「やよい」が去ったのはとても大きな損失でした。あの頃しきりに活性化と言われましたが、活性化とは行きませんでした。（女性・70代）

（5）少子高齢化，町内会運営，人材，人間関係

- 1・近所に借家が多く、マナーの良くない入居者に対して、どう対応していいかわからない。無責任な方も多くて困ることが多い。町内で気軽に相談できる窓口があると良い。（女性・60代）
- 2・今は全体の世帯数が減って年齢、人格からみても人材が不足している。隣接する町内会、自治会が合併または連合体となり互いに短所を補いながら活動するよう改革が必要である。（男性・80代）
- 3・町内会総会は日曜日の昼を望みます（男性・70代）
- 4・高齢者であり受け身のみであり、参加・奉仕活動不可で申し訳ありません。（男性・90代）
- 5・助け合い、支え合うため、組単位で懇親の会を年1回開催したらと思う。（男性・70代）
- 6・多少観点は違いますが、組長の役は1年毎に代わりますが、高齢のうえ家族も少ないので、組長の仕事がなかなか難しくなっているのが現状です。何らかの対策が必要になると思います。（男性・60代）
- 7・地域活動に携わる人の育成。（女性・70代）
- 8・近所に年寄りが多いが、もう少し若い人達が頑張してほしい。（女性・80代）
- 9・会長さんだけにまかせないでもう少し皆が手伝う方が良い（女性・70代）

- 10・町内の小さな集いを月1回。顔見世程度の会があると良いと思う。(男性・60代)
- 11・町内会の在り方に一言。年何回かは、夜に集まりますが、80歳以上となると不安になります。集金とか配布物とか、地区によっては70歳以上のところもあり、これも考えられます。(女性・80代)
- 12・私の住んでいる町内はわりかしまとまっていて、会に参加しやすいと思います。できれば、もう少し若い人(50、60代)の参加が望ましい。そうすれば、子どもたちも参加してくれると思う。町内会が一体になることが望ましい。(女性・80代)
- 13・高齢化が進み、支え合いたいですが、まだ仕事をしているのでなかなか現在は参加できていない。自治会そのものが良くしようとの熱意がないので望んでも無駄。(女性・80代)(女性・70代)
- 14・高齢であるが、ヘルパー等頼んだことが無いので健康であるともなされ県営住宅の掃除当番が回ってくるのが負担。腰痛・背骨の痛みでかがんで掃除が出来ないため、別居の家族に来てもらい代わりに掃除を頼んでいるが、他の高齢者はどうしてやっておられるのか気になる。(女性・90代)
- 15・私たちの生活環境は夜の商売店が主で住まいをする環境ではありません。地域の方たちとの交流はなかなか難しいです。(女性・70代)
- 16・住民票があるが他地区で暮らしているので特になし。(男性・80代)
- 17・高齢化しているので難しい。(女性・90代)
- 18・人によって他人にお世話をかけたくない等の考えもあり、今は自分の体力の維持が精一杯で考えにくい。(男性・70代)

(6) 現状維持(特に問題無し)

- 1・町内での話し合いが出来ているので現状維持でよい。(男性・50代)
- 2・とても暮らしやすく安心して参加しています。役員の方々大変だろうと思いますがよろしくお願いします。(女性・70代)
- 3・現状で良い。(男性・80代)
- 4・今のところ特になし。(男性・70代)
- 5・今のままで良い。(女性・70代)
- 6・私自身が今体調が悪いので、今は近くで困ったことが特別ないですので特別望むことがありません。(男性・70代)
- 7・今でも暮らしやすいです(男性・80代)
- 8・今暮らしやすいので何も望みません(女性・50代)
- 9・望まない。(女性・80代)
- 10・心優しい気遣いに不満になし。(男性・80代)
- 11・特に別状なし。(男性・60代)
- 12・今までどおりで良い。(女性・70代)
- 13・現状のままで良いと思います。(男性・70代)
- 14・今は町内会も大変良い雰囲気ですので、このまま続くといいと思います。(女性・60代)

(7) その他

- 1・高齢者など日常生活に支障がある人を支援できるシステムづくり。(男性・70代)
- 2・情報をどんどんながしてほしい。(女性・90代)
- 3・公民館は何をするところですか？社会福祉協議会との違いは？高齢者にわかるように説明してほしい。(男性・80代)
- 4・決められたことは守るよう努力して欲しい。(女性・70代)

障がいをお持ちの方にお聞きします … 該当者がおられない場合は回答不要です

問20 あなたは、「暮らしやすいまちづくり」のために、地域〔白湊地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。(ご自由に記入下さい。)

(1) 交流の場、ふれあい行事

- 1・地域行事にこれからも参加させていただきたい。(鑿行列など)(男性・40代)
- 2・地区に以前から残る催事を続けてほしい。皆が集まり顔を見る事ができるから。歴史を残したいから。(男性・70代)

(2) 見守り、声掛け

- 1・本人は常に自立第一を心掛けて努力していますので、相談をしたときには速やかに力を貸していただきたいのですが、それ以外はそっとしていただきたい希望です。(女性・90代)
- 2・そっと見守ってほしい(女性・60代)
- 3・ささやかな心くばりをたくさん持ちたい(女性・60代)
- 4・主人が障がいを持っていて、近くに息子がいますので不安は無いのですが、ここに越して近所の皆様に良くしていただき本当に嬉しく思っています。感謝です。御世話をかけする事があると思いますが、御支援宜しくお願い致します。(女性・70代)
- 5・うつ病で寝たきりなので、ほっといてほしい。(女性・50代)

(3) 交通、防災、防犯、土木

- 1・夜とか家族がいるときは、災害のときは手伝ってもらえるが、そうでないときは皆様に手伝ってもらわないといけないのが不安です。(女性・80代)
- 2・道路の状況、大分改善されて来ていますが、歩道と車道や縁石のでっぱり等、電信柱が道をふさぐように立っていたりすること等、道路の事がもう少しスピーディに改善されると良いのと思います。(女性・70代)
- 3・バスの便が少なくなり、大変不便になりました。また駅に入って出るため、通勤時に、時間がかかり困っている。通勤時間帯に、駅に入らずに来るバスを設定してもらえないでしょうか。
タクシーを利用して通勤しようとしても、7時~9時頃、17時~19時にタクシーが予約利用できないため困っている。前日からタクシーを予約しても断られてしまいます。(女性・80代)

- 4・大型バス乗車無理。小型コミュニティ忌部に廻っているような、コミュニティバスがあれば、午前午後、駅、イオンなど廻ると利用に便利だと思う。忌部～乃木駅～市民病院、みしまや、午前、午後。(女性・80代)
- 5・道の修繕。車イスで移動するのに移動しにくい道が多い。危険な場所が多い。(女性・年齢無記入)

(4) 町づくり, お店, 買い物, 空き家

- 1・近くのコンビニ、飲食店に電話をすれば届けて頂ける様なシステムがあればとても助かります。(女性・50代)
- 2・障害者の施設を市内に作ってほしい。(男性・70代)

(5) 少子高齢化, 町内会運営, 人材, 人間関係

- 1・町内会での組長の募金募集は如何なものかと思います。強制ではないとは言え、いつも考えさせられます。他の町内の方にも聞きますが、色々ありますね。年金暮らしの多い町内、集金は町費のみをお願いしたいです。(女性・70代)
- 2・強制されないこと、権力で人の自由をおさえないこと。(女性・80代)
- 3・お互いが自分自身を自立させて生活する事が必要(女性・70代)
- 4・なかなか適任者がいなく、難しい。(女性・80代)
- 5・人によって他人にお世話をかけたくない等の考えもあり、今は自分の体力の維持が精一杯で考えにくい。(男性・70代)

(6) 現状維持(特に問題無し)

- 1・今のままで良い。(女性・70代)
- 2・自分の事は出来るので別になし。(女性・70代)
- 3・現体調では特になし。(男性・80代)

(7) その他

- 1・相談窓口があると良いと思う。今は色々制度が出来、活用できるようになっているが。(女性・60代)
- 2・地域のお年寄りが困っていらっしゃることで、出来る事であればグループホームの入居者にお手伝いさせていただきたい。(男性・40代)

白濁地区内あるいは各町内会・自治会内の全般について

問26 お住まいの地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題として、どのようなことがあると思いますか。(ご自由に記入下さい。)

(1) 交流の場, ふれあい行事

- 1・独居者の方々、身体の不自由な方々とのふれあい、コミュニケーションが必要である。(男性・60代)

- 2・高齢者が多いので、介護予防や要支援者に対する取り組みを進める必要があります。(女性・50代)
- 3・困っていることを言えること、同人会っぽい会もいいのかな？(男性・50代)
- 4・毎年秋にある公民館まつりは、いつも楽しみにしています。(女性・60代)
- 5・毎月25日のおかげ天神の日、青山コーヒー店さんのふるまいコーヒーはありがたい。そんな場所として、まめな館に期待したい。(女性・60代)
- 6・町内を超えた交流、他町の催し事に参加できると良いと思う。(女性・70代)
- 7・子供たちが活動できる場を沢山作る(保護者も一緒に来て地域の交流がより生まれると思う)。(女性・40代)
- 8・各町内で空家を活用し誰でも活用できる居場所があれば良いと思う。出来ればスーパー近くとか食堂の近くにそうした場所があれば、人々も集まり易いと思う。(男性・80代)

(2) 見守り, 声掛け

- 1・だんだん高齢者、人数も少なくなっている為、声掛け、見守り見守りをしていく必要があると思います。(女性・60代)
- 2・高齢者、一人暮らしの安否確認連絡網の確率。(男性・60代)
- 3・独居の高齢者の方のケアは皆さんが抱えられておられる問題だと思いましたが、特に課題点だと思います。(男性・50代)
- 4・日頃からの声かけ(男性・50代)
- 5・一人暮らしの老人が多いし、これからも増加すると思う。何かの形で見守り・声掛けをもっと増やしていく必要があると思う。ただ、長年自分でやって来られた方の中には交流を迷惑に思われる方もあり、離れたところにおられるご家族とも連携が必要かもしれない。(女性・60代)
- 6・近所同士の声かけが特に必要。(女性・70代)
- 7・独居(高齢)の地域住民の見守り強化。孤立させない取組み。(女性・50代)
- 8・年齢に関わらず、男性の独居の人が多くなり、孤独死があり見守りが必要かと思ったりします。(女性・70代)
- 9・独居世帯や困りごとを抱える世帯への声掛けや見守り、人の確保を含め福祉推進員の育成。(女性・60代)
- 10・近所の皆様にあいさつ。声かけ。(女性・70代)

(3) 交通, 防災, 防犯, 土木

- 1・大橋川改修に伴う工事への対応。車両の出入り、事故防止、騒音等(男性・80代)
- 2・防火、防災、買い物の不自由さ。(男性・50代)
- 3・7月上旬西日本で特別警報がでるほどの豪雨で死亡者や建物崩壊がおきた。もし地元でこのような天災被害が起きたとき、救助、生活支援等に協力してくれる支援者がいてくれたら心強い。(女性・70代)
- 4・バスの駐車場が少なく大橋南⇒寺町になっているので、スティックピルの後ぐらいにもう一つ必要です。バス停での乗り降り今のままではどの場所で乗り降りしても遠くて不自由です。これは前にも申し出てお願いしています。ぜひ実現させてください。お願い申し上げます。(女性・70代)

- 5・積雪の場合、消火栓など見回りに歩かれると良いと思います。(女性・70代)
- 6・最近(近年)大田市の地震、この度の西日本大水害等大きな災害が起きていますが、幸にも松江市は被害もなく、自分の市として考えていないが、いつどんな災害に遭うかわかりません。先ず防災活動に取り組む事が課題だと思います。(女性・70代)
- 7・町内会での防災訓練。(女性・80代)
- 8・駐車場が多い為、勝手に駐車(町内、契約者以外の人)していたり、当て逃げがあったりする。狭い町内をスピードを出して入ってくる等一寸困る時があります。(男性・60代)
- 9・先月の防災会議立上は素晴らしい企画。全面的に賛同協力したい(男性・60代)
- 10・防災訓練。町内の危険箇所の確認・点検(女性・60代)
- 11・最近の予想外の気象災害時における対応等(連絡体制、状況確認など)確立して行く必要があると思います。(男性・50代)
- 12・関西などで実際に地震があったりしているが、実際にあのような大きな災害に合うと、まずどこに避難するのか、連絡はどの様に伝わるのか。どうするのかよくわからない。団地内に防災の方がいると思うが、いざと言う時、どう動けば良いのか分からず不安。(女性・50代)

(4) 町づくり, お店, 買い物, 空き家

- 1・近所にスーパー等、買い物をする場所がなく、車がないと困難。(女性・50代)
- 2・買い物が不便。コンビニとか生協の受取りステーションがあると良いと思う。(女性・50代)
- 3・買い物を歩いて行ける場所がほしい。(男性・50代)
- 4・朝市の開催。(男性・50代)
- 5・買物に行くにも遠くのスーパーだけで、近くのスーパーは対象外とのこと。年寄りが多いので、スーパーをやっても人が来ないとやっていけないので、NHKさんの跡地に中型のスーパーでも出来たら喜びますけど、無理だと思います。近くに買い物をする所があると良いと思います。(男性・70代)
- 6・引っ越してきたばかりでまだ町内の様子がよくわかりません。NPOですので町内の皆様とご一緒にいろいろな活動やお手伝いをさせていただけたらと思っています。オープンの前段階の準備に時間がかかっていますが、子ども・若者の支援をするNPOですので、月1回程度の食事会(子ども食堂・多世代交流サロン)をはじめとしたボランティア活動や地域を元気にするために天神祭り・おかげ天神・水郷祭などイベント時の出店、有機野菜や雑貨の販売を若者と一緒に取り組んで行く予定です。お役に立てるようなことがありましたら、気軽にお声かけお願いします。(女性・60代)
- 7・独食の子どもが多数いると聞いています。また、食事が思うように食べられていない子どもも多数いると聞いています。課題だと思います。(女性・70代)
- 8・自分の事、私は最近右ひざの調子が悪く、病院に通っています。もう少しで67歳になりますので、徐々に体のあっちこっちの調子が悪くなってきているようです。こんなはずでは無かったと自分自身驚いています。買い物、病院へ行くのも大変です。バス、タクシー、友人、主人の車にたまに乗せてもらってなんとか行っています。近くは、何人とか歩いています。車に乗れないので、不便を感じております。もし、私が、一人暮らしでしたら、すごい不安になると思います。一人暮らしでも安心して生活できる町が良いです。(女

性・60代)

- 9・近接する空家への注意。屋根瓦の落下の恐れあり。自宅の壁修理の必要があっても入れてもらえない。雑草が茂っていても放置のまま。etc (男性・80代)
- 10・町並み破壊が進み地区らしさがドンドン失われている。自分たちが住んでいる地区の本質を見直し歴史の延長線上にある新しさは何かを考えその中にある未来を見つける様活動していただきたい。(男性・50代)
- 11・若い世代の方々が住むようなハード事業が必要。(女性・50代)
- 12・近年人数が減少し建物も少なくなってきた。公的な策で人を誘致してもらえれば地域活性につながるとは思います但我々には考えが付きません。(男性・40代)
- 13・定住者対策が一番。人がいないと何もできない。駐車場などはいらぬ。(男性・70代)
- 14・温泉施設があると良い。千鳥湯くらいの大きさで良い。(女性・50代)
- 15・空き家が多い。隣家を買いたい人もするが、売ってもらえない。空き家で持っている人は税金を高くして、他に害が無いよう管理費として更地にする危険を防ぐなどしてほしい。(女性・50代)
- 16・空き家の問題 (女性・40代)
- 17・大橋川改修による家屋の取り壊しが進んでいるが、見た目がよくないので本格的な工事が始まるまで仮壁で隠した方が良いのでは。(男性・70代)
- 18・高齢化が進み空き家が目立ち始めており、防犯防火の点からも対策が必要と感じる。市でも空き家対策に取り組まれていると思うが、地元からも地区内の状況を調査し、みんなでどういうことができるか話し合ってみることも必要ではないでしょうか。(女性・年代無記入)
- 19・環境を整える、・環境の改善 (女性・50代)
- 20・空き家対策をしてほしい。(男性・70代)
- 21・ゴミ回収については、集積所(ゴミステーション)を作ってもらいたい。古き良き街並みであり、観光客(外人)も多くなってくる。少しでも美観を損なわれないよう集める工夫をしてほしい。(男性・40代)
- 22・空き家、廃屋の処理。(男性・50代)
- 23・住宅と飲食街が混在しており、飲食店(スナック)の中には外まで聞こえる音楽(カラオケ)を流したり、朝まで営業して、朝早くからの大声での立ち話をしており非常に迷惑。警察では取り締まりをしてくれないが、松江市の迷惑条例などでルールを守るよう、もっと市を中心に指導して欲しい。(高齢者が多い地域で、中にはそれで鬱になりかけている人もいる。)(女性・60代)
- 24・地域の課題として、下水道整備等、インフラ対策を積極的に推進してほしい。このままでは、幸町は高齢の単身者のみが居住するゴーストタウン化が進み、まともな地域として機能できなくなる。(男性・60代)
- 25・難しいとは思いますが、空き家をなるべく減らす方策があればと思います。(男性・60代)
- 26・行政と協力し、空き家に対策が必要である。(男性・30代)
- 27・自分も高齢は体調もよくなく、何かしたいができない状況です。暮らしやすい町、住み良い街になるといいですが、町内会活動をする人の高齢化、若い人の参加が少ない。若い人も自分の生活が大変で人の面倒を見る余裕がないのではないかと思います。松江市の住民に

対する取り組みに問題があるのではないか。暮らしやすい松江市にならねば若い人の町内会への参加も難しい。もって市政が住民の方に向かないと駄目ではないでしょうか。(男性・70代)

28・これからもっと高齢者が多くなり、活動に支障をきたすので、地域活性化には若い人の参加が必要。どうすれば若い人が参加するかを考えることが大切だと思います。(女性・70代)

29・空き家の雑草、木、荒れ放題になっている。駐車場が増え、近所の人(知らない人)以外がウロウロする。安心できない。(騒音)(女性・60代)

30・空き地の草刈り(男性・30代)

31・白湯地区に遊具のある公園が少ないので増やして欲しい。(男性・40代)

32・町内に住みたくても土地が狭くて建て替えできない話をよく聞きます。耐火基準を厳しくするなど、又建ぺい率を緩めるなど特化した法律改正をすべきと考える。だんだん空き家が増え、家が減って来るばかりで寂しいです。(男性・70代)

33・空屋、シャッターの下りた店、とても淋しく思います(女性・70代)

34・青空の下で体育したい 水泳やテニス(女性・60代)

(5) 少子高齢化, 町内会運営, 人材, 人間関係

1・新しい住民の方との意思疎通(例えばマンションの方)(男性・60代)

2・ご近所との交流。お付き合いの深さはそれぞれだけど、高齢の方が増えているので、様子の分かるお付き合いは大事だと思う。(女性・50代)

3・町内会役員等の育成。(男性・60代)

4・町内人口減少に伴う町内会等の活動改善。(男性・60代)

5・高齢者や空き家も増え防犯上の対策も必要となってきた。又町内の役員のなり手が無い。(男性・70代)

6・地域活動に携わる人の高齢化(女性・50代)

7・高齢化対策。空き家対策。若者の定住促進(男性・60代)

8・若い人がいても、町内会に参加されない。気軽に参加できるイベントがあれば良いと思う。(女性・50代)

9・町内自治会活動に熱心な方と、全く参加されない方との二極化。(男性・60代)

10・各役員の高齢化。固定化。(男性・60代)

11・町内、近所の人々と密に付き合うように努力する。(男性・70代)

12・高齢化、少子化、また子供たちが別に家を持ち出て、町内に残るのは年寄り・一人暮らしの人。また空き家が急増。管理種の無い家が増え不安である。町内の役員も高齢化し、次のなる若い者がいない。(男性・60代)

13・町内会行事はいつも決まった人達しか参加しない。(男性・40代)

14・町内会役員も固定化されている。(男性・40代)

15・町内会の組み分けも固定化されている。(男性・40代)

16・若年層の活動(女性・40代)

17・子どもの住みやすい環境(女性・40代)

18・世帯数はあっても活動できる家庭が少ないため、当番制が体を成していない。当方も仕事を抱えており、決められた作業(チラシ配り, 集金等)は何とかこなすが、はっきり言

- って負担。会報等はネットからの市役所情報等で十分間に合うし、いまどき1件1件集金に回るというのもスムーズにいただけない世帯もあり、時代にそぐわないと思う。活動に参加される方は誠に結構で反対もしませんが。(女性・50代)
- 19・地域活動は活発な方だと思う。地域の事に向けている人と、自分の事しか見ていない人との比率は、どうしても自分中心の人の方が多い。若い人の地域活動参加をもっと進めて行かないと、先細り感が強く、将来が不安になる。(女性・60代)
- 20・町内行事なのに全体に声かけできておらず、個々から問合せしたりしなくてはいけない。また、自分の親しい人たちに声かけするだけで、と思う時がある。(女性・50代)
- 21・各種役割をご苦労なさっている方々に感謝します。ただ、次のような印象を持ちます。
①役割が細分化マンネリ化され過ぎている印象。②継続的な企画が例年続き、傾向としては企画は増える一方。③役員さんの負担が増え、交代なども難航している印象。④一般に行われる定期的な企画の棚卸の強化、厳選して変化に対応しやすい状況を作ること必要と考えます。(活動費を細分化して分配する形は無理があります。)(男性・70代)
- 22・地域活動に積極的に参画する人が少ない。(男性・60代)
- 23・白濁地区に限られたことではありませんが、子どもの声が聞こえません。すぐどうなるものではありませんが、確実に高齢化しています。高齢化するのは仕方ないことかもしれませんが、若い家庭が増えてほしいです。(女性・70代)
- 24・地域行事への積極的参加。住民の高齢化。住民の減少化(男性・70代)
- 25・若い世代が増えると良いけど、難しいかも。(男性・60代)
- 26・高齢者が多く、地域活動がなかなかできない。(男性・60代)
- 27・高齢者が増え、今後の町内会が成り立つか不安。(女性・70代)
- 28・近所との方と毎年のように、溝掃除をしていますが、もっと高齢になった場合には、他の人にしてほしいと願っています。(男性・60代)
- 29・高齢化及び独居高齢者の増加で、町内会活動に参加できない人が、益々増えるので不安である。(男性・70代)
- 30・人口減少、高齢化が進み町内が存続ができない。隣の町内との合併。(男性・60代)
- 31・地域活動への人材育成(女性・60代)
- 32・地域住民は適度な距離感も保ちつつ協力して行くのが良いと思いますが、その度合いは個々各々感じ方も考え方も異なるところが難しい点だと思います。今年息子が県外の大学に行きましたが、地域が温かい故郷として心に残ってくれると嬉しいと思います。(女性・60代)
- 33・賃貸の家、マンション等に住んでいる人たちとの関わり方(女性・年代無記入)
- 34・町内自治会役員が毎年同じ人で形式化している。同じ人に負担がかかり過ぎていて、本当に活動ができていないか疑問を持っている。(女性・70代)
- 35・自治会への新規勧誘。(性別・年代無記入)
- 36・町内会への加入促進(人との交流、つながりを作れる場、地域の中で楽しく過ごせるきっかけが作れる場としての町内会)(女性・40代)
- 37・自治会長が1年の交替制なので無責任でも済まされることが多く、住みやすい団地づくりには消極的です。良い提案があってもなかなか直りません。(役員への手当金を目当てに引き受ける人もいて困りものです。)(女性・80代)
- 38・高齢者の自治会活動等への参加、協力。(男性・50代)

- 39・年齢差があり考え方も各々でむずかしい面がある。(男性・70代)
- 40・他の家の中の事は良くわからない。(女性・80代)
- 41・個人の生活状況を尊重しつつ、それぞれが当事者意識を持つように努める。先ずは、笑顔で挨拶することから。(女性・60代)
- 42・核家族が多い中、地域住民の方が多くなれば良いと思う。(女性・80代)
- 43・白潟地区は、自ら考えて提言する姿勢が希薄である。(男性・60代)
- 44・白潟地区は、過去を踏襲し、改革する建設的な意見が少ない。(男性・60代)
- 45・協力し合いたいと思えるような、個々の発言や対応が大切。(女性・40代)
- 46・高齢者世帯が非常に多くなったが、どうしようもない。取り組む人がいない。(男性・80代)
- 47・高齢者の一人住まい、高齢者のみ世帯が多い、空き家対策(女性・50代)
- 48・子ども、若者がいない。転入ができない町。(男性・60代)
- 49・お互いに助け合うこと。(女性・80代)
- 50・若い子どもたちの命が失われている今日の日本社会で問題の解決にあたって年寄りの力を利用しないのは大きな損失である。(男性・70代)
- 51・初めてのアンケートでしたが、色々住みやすい町づくりを考えてられると思いました。どの県も高齢者が増え、活動が大変だと感じます。自分の世界は狭いので、自分の行動範囲を整えて、気を配っていけば住みやすくなると考えています。よく旅行に行くのですが、住みやすい町ってどんなところかなと思うと人それぞれだと思いますが、笑顔のある町に住みたいなと思っています。私は松江に住まわせてもらっている立場なので、ずっといたいとは思わないのは気軽さがないのかなと思っています。考えることも大切ですが、行動してから考えると問題解決するのでは。勝手な事を言ってごめんなさい。(女性・40代)
- 52・助け合って少しでも安心して生活できるようにしたいが、自身の経済が不安で年金では食べていけないから元気なうちは仕事をします。なかなか人の為に動けないのが残念です。(女性・70代)
- 53・人数構成、年齢構成に恵まれた地域(団地)ではあるが、意見の交流が他の地域に比べて希薄な感じがする。(男性・60代)

(6) 現状維持(特に問題無し)

(7) その他

- 1・入会したばかりで特にわかりません(男性・50代)
- 2・仕事の時間が昼から夜なので、周りの事がよくわかりません。(女性・40代)
- 3・行政にもたれかからないことも必要では。(男性・60代)
- 4・わからない。(女性・60代)
- 5・わからないし、どうでもいい。(女性・50代)

問27 お住まいの地域に対する良い点、悪い点、要望などご自由にお書きください。

(1) 良い点など

- 1・白湍地区は協力体制があって助かります。(女性・80代)
- 2・落ち着いている。静か。(男性・80代)
- 3・鑿行列に参加することによって町民が心ひとつになる。(男性・80代)
- 4・和多見町あんしんネットで各世帯が町内の仕事を分担している。(総務、防災、福祉、環境、文教各部会)(男性・80代)
- 5・月一回のなごやか寄合いは世話人の方々のお力で素晴らしい会になっています。(女性・70代)
- 6・買い物を除いて我が町内は松江では最高に良い場所であると思う。(男性・70代)
- 7・景観が良い。年々風当たりが強くて(強すぎて)住みにくくなっている。(女性・50代)
- 8・駅に近い。交通の便が良い。景観が良い。昔からの家が多いのでトラブル等が少なく安心して暮らせる。(女性・70代)
- 9・適度な距離感を保ちつつ、自分のことを気にしてくれているご近所さんがいて、普通に暮らしていけること。(女性・60代)
- 10・情報が共有できていること。(女性・60代)
- 11・さまざまな行事に参加することにより、性別・年代を問わず、顔見知りになれること。(女性・60代)
- 12・出来る人が出来ることを、出来るときにのスタンスが実践されていること。(女性・60代)
- 13・駅、飲み会など、便利なところ。公園等、癒しの場があること。(女性・50代)
- 14・灘町に住んでいます。一人暮らしでも安全でも、安全でとても住みやすいです。自分自身がマイカーで遠出も出来るし、今のところ地域に対する要望はありません。よろしくお願ひします。(女性・70代)
- 15・灘町には鑿があり年に1回町内全体がまとまる行事があり、町内の人の顔が自然と分かり、お互いに絆が出来る。(男性・60代)
- 16・灘町は色々な事、良いと思います。(性別・年代無記入)
- 17・町内会長のリーダーシップのもと、町内行事への参加意識が高いと思う。(男性・50代)
- 18・環境が良い。交通の便利が良い。(男性・70代)
- 19・皆様、仲が良くて良いと思う。(女性・70代)
- 20・住みやすい場所だと思います。(女性・40代)
- 21・街灯が明るくて歩きやすいし防犯にもなっている。この町が大好きなので…さらに安全が保たれることを望みます。(駅前交番の巡査がよく巡回され有難いです。)(女性・50代)
- 22・寺町なので、会合などの場で、寺の本堂を借りることがある。住職さんや奥さんにお世話になることもあり、感謝している。(女性・60代)
- 23・静かな毎日を暮らさせてもらっています。囲りが空でもいつもよそを思っています。このまま生きられるよう願っています。(女性・60代)
- 24・平素親切にお世話になっているので感謝です。(女性・90代)
- 25・お世話する方は大変でしょうが、1月にはとんどさん、5月11月は宮出しと、住民間

- の交流を目的とした行事が催されることはいいことと思ってます。(女性・70代)
- 26・おかげさまで歩いて行ける範囲内に駅、銀行、郵便局、マーケット、開業医があり、良い町であると喜んで住んでいます。(女性・80代)
- 27・駅やスーパーなど近くにあり、生活する上で立地条件はよく、歩きや自転車、車を利用し不自由を感じない。(女性・50代)
- 28・近所づきあいが比較的あるということ。(男性・70代)
- 29・景観と伝統。(女性・60代)
- 30・つながりを大切にしていこうとする点。(女性・60代)
- 31・地域活動が割と盛んで顔見知りが多いのが良い点と思う反面、そのことが煩わしく感じることもあります。(女性・50代)
- 32・町内会がしっかりしていて心強い面が良いです。(男性・70代)
- 33・町民同士の対話は割合できていると思います。(男性・70代)
- 34・楽しい町内、町民(男性・50代)
- 35・地域の人が助け合う環境は整いつつあると思います。(男性・50代)
- 36・日帰りで尾道に行けるので楽しい。運転ができれば上手く他県にアクセスできるところ。(女性・40代)
- 37・景色がきれい、近隣住民が良い人ばかり。買い物や食事をする店が近くにある。(女性・40代)(女性・40代)
- 38・皆様が良く町をきれいにしてくださっているので綺麗。(女性・40代)
- 39・親子が仲良くお互いを思いやる気持ちがあって、心から凄いいと思います。本当に泣けました。(女性・40代)
- 40・本当に静かに心穏やかに暮らさせてもらっています。(女性・40代)
- 41・町内会長様をはじめ、役員の皆さんには日頃色々とお世話になり有難うございます。(性別・年代無記入)
- 42・災害が少ない。(女性・70代)
- 43・近くに景色のよい公園があり、いつでも散歩できる。(女性・70代)
- 44・花火が近くで見える。(女性・70代)
- 45・他市、他地域からの移住者も、気さくに受け入れてもらえるところが有難い。(男性・50代)
- 46・利便性が良い。(女性・40代)
- 47・公民館の人たちが優しい対応だったこと。(女性・40代)
- 48・児童クラブのスタッフが、とても良い方ばかり。(女性・40代)
- 49・宍道湖の景色は綺麗。(女性・40代)

(2) 悪い点など

- 1・他地区から引っ越して数年がたちます。以前はアパートだった為、隣の方とのふれあいがほぼありませんでしたが和多見に来て多少のふれあいはさせていただいています。が、不必要にプライベートに介入されるのは嫌で隣の方とも距離を置いています。引っ越し当初とてもしつこくこまったので。回りお方がご年配が多く町内の分からないことを教えてください方もあるのでその点はとても助かっています。普段は仕事して不在がちで、特に近所づきあいをしていませんが次に移り住む場所では少しでも仲良くできたらと思います。

- もう少し同じ年代の方がいれば楽しいかなと思います。(女性・30代)
- 2・高齢者が多いため天災が起きたとき不安。(女性・70代)
 - 3・大橋川の拡幅、新大橋の架け替え等町を大きく変えるであろう問題が山積みである。世帯数も更に減少する中で不安材料が増えてくるこの頃です。(男性・70代)
 - 4・買い物が不便。空家が多い。その管理が悪い。夜間が暗い(男性・80代)
 - 5・夜間の住人が少ない。高齢者が多い。(女性・60代)
 - 6・人がいない。ここ2~3年店がなくなり町の人通りが極端に悪くなった。他の地域では家が建っている。(男性・70代)
 - 7・以前は商店街として栄えていたが今は商店街とは言えない。人口の減少でシャッター街となった。住宅地としても合銀関連の土地家屋が多く開発もされない。(男性・40代)
 - 8・日用品、食料品などを買える店がないので高齢者にとって不便(男性・60代)
 - 9・交通ルールに一言。これも以前にすぐ修正しますとの考えと答えを頂いてた事です。国体が終われば・・・と言っておられましたが、ずーとそのままです。魚町湖岸通りしんじ湖大橋手前、駅の方向左折れ右に進行できません。同じ感じの道路が西原にもあり信号でスムーズにいつているので、あんな感じに修正してほしいと、ずーと以前から思っています。(女性・70代)
 - 10・若い人が少ない。(女性・70代)
 - 11・空き家が多く、汚く見える。(女性・50代)
 - 12・子供、若い人が少ないこと。(女性・50代)
 - 13・信号や横断歩道の充実化(男性・50代)
 - 14・空き家の問題(女性・40代)
 - 15・買い物ができる店が無い。市立病院、小学校に代わる人の集まるものが何時までたっても出来ない。市は病院・小学校の移転時、白湯地区の新たな発展のためになるようにすると言っていたが、何もしてくれない。約束を守らない市に対し不満を覚える。観光のための道路整備・周辺美化は進められるが、生活道路等は手つかず、何年たっても凸凹・つぎはぎ道路。商店街も観光客の行く場所だけ整備、他は手つかず。市が市民を見ているのか、観光だけを見ているのか、これでは地区の発展も、市民の生活環境も望めない。
ふだんの 暮らしの しあわせ を、今一度考えてもらいたい。(男性・60代)
 - 16・遊べる場所が無い。買物をする所が遠い。(男性・70代)
 - 17・半ば強制的に全員参加的な活動は個々の立場もあり、如何なものでしょうか。(女性・50代)
 - 18・先日実施されたクリーンデーに参加して思ったこと。①参加者が少ない。②湖岸に沢山ゴミがあるのに、私を含めて二人くらいの人が気付いた程度で他の人は無関心。③以上の事から、町内会は会長だけではなく、責任者を作って事前に計画を作って見回りをして指揮すべきと思う。(男性・90代)
 - 19・毎年、社会福祉協議会の募金があるが、町内会だと強制的に見える。まして最低これ以上とは、どういう事か。金額はいくらでもよいではないのか。(男性・70代)
 - 20・お店が無くなり、買い物に行くのが大変だ。せめてコンビニのようなお店があると良いですが、よろしく願います。(女性・80代)
 - 21・町内会や地区役員へのなり手が少ない。(男性・60代)
 - 22・役員に就任すると、併せて沢山の役職が付加される。(男性・60代)

- 23・大型駐車場が対面にあるため、夜間の大声・エンジンの掛けっぱなし・ゴミ類の道路へのポイ捨てなど困ることが多い。特に、小便や時には大便など全く始末に困ることがある。
(男性・80代)
- 24・ごく周りとは付き合いがあるけど、後はほとんど交流が無い。(男性・60代)
- 25・高齢者が殆どで活気が無い。(男性・60代)
- 26・家が減り(空き家も含めて)、人口減が著しい(駐車場だけが増えているのが現状)。
- 27・飲み屋街の騒音がうるさい。(男性・60代)
- 28・昼中、車の往来が少なくてもよい。(男性・70代)
- 29・通勤者の信号無視。2列3列歩行。飲食店配達車の右側駐車。吸い殻のポイ捨て。除雪作業について、北向き路地に住む高齢者宅(女性)の除雪作業をしているが、作業する人がいない。(男性・70代)
- 30・溝掃除の負担が大きい
- 31・だんだん高齢者が多くなり、何をするにも難しいと思う。(女性・80代)
- 32・空き家。(男性・60代)
- 33・雑草。(男性・60代)
- 34・汲み取り。(男性・60代)
- 35・空き家が増えることによる治安悪化。環境保全に不安があります。(男性・30代)
- 36・空き家・空き地が多いこと。老人だけの世帯が多く、若い人・子どもが少ないこと。(男性・70代)
- 37・高齢化により新しい発想が出にくい。(女性・60代)
- 38・ゴミ出しの時、緑のネットをかけていてもカラスがつついて中を出していることがあります。何か他に方法はないでしょうか？(自分の家以外で見ることもあります)(男性・70代)
- 39・福祉活動にどうしても個人情報厳守の壁がある。(女性・70代)
- 40・町内会への参加が少なく、町民意識が極めて低い。高齢になって、助け合いが出来ない地域に住むかと思うと恐怖さえ感じます。(女性・70代)
- 41・都会暮らしの方から見ると死んでる町、未来が無いと話してた事にビックリしましたが、お互いの良さを共有できたら良いと思います。動線が無いのがネックですね。(女性・40代)
- 42・買い物が不便。(女性・70代)
- 43・川の藻が沢山浮いていて綺麗でない(女性・70代)
- 44・日常的な交流活動が無い。(男性・60代)
- 45・いざと言う時の話し合いが無い。(男性・60代)
- 46・駐車場が狭い。(女性・40代)

(3) 要望, その他

- 1・若い人に地域活動に積極的に参加して欲しい。(女性・50代)
- 2・近くに買い物ができる場所があって欲しい。(女性・50代)
- 3・地域活動に参加する世帯としない世帯がある。すべての世帯が参加できるようにすべきである。(男性・60代)

- 4・白潟地区の歴史ある町並みの保持による人の流入、観光客の誘致（男性・60代）
- 5・大橋川改修に伴う町づくりを全市規模で考えていきたい。他の地区の意見も。（男性・60代）
- 6・年齢、職業、町名書けばだれのものかわかるのではないか。こんなアンケート無駄だ。やり方を考えた方がよい。（女性・70代）
- 7・課題はまず蓄積され、問題を提起したからと言って解決と結びつくとは思いません。人口（世帯数）減少により各自治体が規模を縮小する中でリーダーシップをとるべき自治会長をはじめ民生委員、福祉推進員など必要な人材が急激に不足しつつあります。場合によっては隣接地区と共同（吸収？）して1地区を形成する（地区消滅）という形にならざるを得ない地区も出かねません。全地区の皆様のご意見（問題提起）を参考にしながら有識者（公民館単位で）でじっくり話し合う必要（長時間かけてでも）があると思います。（男性・80代）
- 8・プライバシーの問題があるかもしれないが、この地域（白潟地区）のどこにどんな人が住んでいるか知ることができると住民の一体感が生まれる。街と人が繋がってくるような気がします。今はお店とかかわりがあるくらいで、その住民とは接することがない。（男性・60代）
- 9・白潟本町、魚町（大橋沿い）立退き等で・・・心重いです（女性・70代）
- 10・朝、自宅前の掃除をして、車が置かれないまでの掃除をしてあげています。なるべく体を動かすようにしています。お蔭様で少し元気になりました。（女性・80代）
- 11・強弱、形は様々あるにせよ、家族のみならず、近くの人たちと「つながる」を実感できる地域であるように、自分なりに関わって行きたい。（女性・60代）
- 12・上乃木にあるような小さなイオンがあったらいいです。（男性・40代）
- 13・今暮らしている場所で、安全で何事もなく生きて行けるのは地域自治を支えている人がいるからで、その支える人を増やしていかなければ現状は維持できない。住民全員が、ほんの少し力を貸し合えば、特定の人に負担がかからず、自治体を運営して行けると思う。多様な生き方、多様な人生観・価値観を大切にする現代に誰もが同じように地域貢献する必要はないけど、自分自身も楽しみながら地域の人々にも楽しんでもらえ、役に立てる行動が出来ればと思う。（女性・60代）
- 14・白潟は大橋川拡幅、市民病院跡地など大きく変容中です。松江の中心位置ともいえる要素が多数あります。しかし、ドーナツ化現象からの空き家・空き地が増加、町は活気のない高齢化社会となっています。これを脱皮するには、空想的からであっても知恵をだし町の繁栄・安心・便利・高齢化対策などを考え動くべきでしょう。（上からの指示待ち姿勢では無理）単純には白潟へ外から人をどれだけ呼び込むかからのスタートだと思います。空き家・空き地を利用する（住まい、商い、無料駐車場）・祭り・学習などの情報や企画を地域で連携提案したらどうでしょう。天神さんのタコ焼き・松本そば・お菓子・蒲鉾・宝くじ・NHK・合銀本店・市民活動センター・ポートピア・天神祭・水郷祭・穴道湖・資源は豊富です。（男性・70代）
- 15・地区住民のため、色々な活動があり、とても考えていただいていることは感謝いたしております。ただ、色々な企画が一部の方の参加で回っていることは否めない現実があります。企画ものの内容、住民への働きかけなど、もっと沢山の方、余り今まで参加されていない方が参加できるような試み工夫が必要ではないでしょうか。（女性・50代）

- 16・民生委員，福祉推進委員は町内の誰がどの様に選ばれるのか説明していただくと良いと思います。(女性・70代)
- 17・「女性の会」を立ち上げられましたが，どんなメリットがありますか。(女性・70代)
- 18・私たちの年代は専業主婦が多く，現在の若い方は大変だと思います。良い機会をいただきありがとうございました。(女性・70代)
- 19・安全・安心して住める町づくり(電柱の地中化。街灯の増設。)(男性・60代)
- 20・生活食材が購入できるようなコンビニ・スーパー(野菜，魚，衣料など)(男性・60代)
- 21・レクリエーション等が出来る多目的広場(グラウンドゴルフ)(男性・60代)
- 22・子どもの遊ぶ場所が少ない。作って欲しいです。買物をする所が少ない・遠い。(高齢者が多いので，近くにコンビニがあったらいいと思います。)(女性・60代)
- 23・一人一役とし，皆で分担して地域活動をすべきである。(男性・60代)
- 24・市中心部に位置する地区として今後のまちの在り方をみんなで考えるうえで，一つのテーマ地となる位置にあり，これまでも市と一緒にアーケードの改修やまめな館の設置などに取り組み，それなりに成果を出してきたと思います。ただ年数も経過し，さらに高齢化が進み空き家空き店舗が目立ち始め，さらには更地も増えていくなかで，このまちづくりを行政と一緒に考えるべき時に来ていると思います。かつて市の中心街として繁栄してきた地域として，この先も市の中心街として地域だけでなく松江市全体で中心地がどうあるべきか考える時に来ていると思います。(女性・年代無記入)
- 25・5年後10年後と年を重ねていって気がつけば誰もいない全く他人事のように。本当にこのままでよいのだろうか。山間地域より深刻な状況ではないでしょうか。(女性・60代)
- 26・まだ様子がよくわかりませんが，商店街もシャッターが下りているところが多くさみしい感じがします。若い人たちがお店を始めたら様々な活動ができるよう「よそ者」「若者」「馬鹿者」を受け入れて下さると喜びます。天神町もご高齢の方が多いように思います。お手伝いありましたら遠慮なく言って下さい。(女性・60代)
- 27・良し悪しじゃ無くだんだん件数も減り高齢者が多くなり若い人は出て行き，自然と子供はいない寂しい町。お祭り(鑿行列)などよそから人を集めて叩く始末。引っ張る子供もいないし鑿の練習もうるさいからやめろと言う人も有るとか。伝統行事もなにもあったもんじゃないと思うと悲しいね。でもこじんまりとして皆さんと話しやすいと思います。(女性・80代)
- 28・新しく住まれた方に，暖かい対応をする。(女性・40代)
- 29・有難いことですが，日々の多少の不満や不安はあるとしても，概ね安心して暮らしていています。隣り近所とも適当な距離を置いて，程よく仲良く暮らしています。このような調査で皆の暮らしを守ってくださる協議会の活動も有難いことと思っています。要望と言えば，一番の希望は，(交通弱者となりつつある老人からすれば)歩いて行けるところに大体何でも揃う大型店があって欲しいと言う事です。難しい願いでしょうね。(女性・70代)
- 30・静かな良い町です。これから外国人など，観光客が増えます。もっと町の魅力を伝えられるよう案内板やネットの整備などを工夫して，しっかりと発信してもらいたい。年配の方々には現実をよく見てもらい，変化することを楽しんでほしい。若者や子供がいなくなり，町の活気が無くなるようなことにならないよう様々なことに挑戦して欲しい。(男性・

40代)

- 31・協力的な人と非協力的な方の差が激しいと思われる。皆が参加し欲しい。(男性・50代)
- 32・私達は高齢者と障害者で生活して居ります。なるべく地域の皆様に御迷惑を掛け無い様生活してゆきたいと思いますが、障害者が一人残りました時は地域の皆様に宜しくお願ひしたいと思います。(女性・80代)
- 33・回覧版の内容をネットに掲載してほしい(女性・50代)
- 34・落ち着きある良い所と思っているのですが、若い人の子連れ夜中外出、子供の夜中の騒音、伸び放題の庭木、修理されない壁や雨どい、動物の放し飼いやフン等近所ではクレームが言えないです。家が密集しているので仕方が無いと思うのですが、そういう事の相談所や地域でのチラシ等出来ない物でしょうか。(女性・60代)
- 35・まだ様子がわからないが、できる限り近所の方々に声をかけまたかけられるようにしていきたい(男性・60代)
- 36・「無関心」から、すこしづつ関心を持ち、共創、共働の意識が高まりつつあると思う。(男性・60代)
- 37・幸町交差点から旧街道玉造・大東方面への道に面して居りますので、朝・夕が車が多く渋滞もあります。路側帯がせまく、歩行者はかなり危険ですが、車の運転者は、かなりマナーも良好で、スピードダウン等で安全を確保できています。狭い路側帯に電柱が立っていますので、さらに狭くなる場所もあるようで、通行には気が抜けません。また、九号線を法定以上のスピードを走る車もあり、青信号とはいえ騒音がひどくなります。若者のドライバーもそういう運転はめったにないのですが、時々混じって目立つようなスピードアップで、とくに早朝のパトロールをお願いできたら幸せです。また、穴道湖大橋から下ってくる車の中には赤信号を無視するものも、朝の通勤時には先を急ぐためか、黄信号でも止まらずに入ってくるからでもあります。横断歩道に入る前に停車すればと心では願っています。幸町には廃屋が目立ちますが、すでに更地化したところなどには、草の繁茂が藪化したところがありますが、その地主との交渉で家庭菜園化したら、見苦しくなくなるのではないのでしょうか。野菜などを栽培できれば今年のように野菜高騰の折の家計の一助にもなるのではとったりします。住んでいる人も高齢化していますので、そのうちもっと廃屋が増えてくるのではと危ぶんでいる次第です。
- 町内の駐車場等には特定の政党ポスターなど貼られると美観をそこねるので願ひ下げたいところ。(男性・80代)
- 38・空き家対策に取り組んでほしい(女性・50代)
- 39・壊しかけてブルーシートもかけずほってあるところがある。早急になんとかしてほしい。外に洗濯物が出せず困っています。(女性・50代)
- 40・溝掃除をしてほしい。(男性・60代)
- 41・街灯を増やしてほしい。夜になると真っ暗になる。(女性・70代)
- 42・昭和30年代ごろの街並みのまま平成の終わりまで経過しており、いまだに下水道は入らず、汲み取りに頼らざるを得ない。本来なら土地を取得して居宅を新築したいが、当地では地主の対応でそれも不可能である。インフラ整備も後回しにされ、周囲には廃屋が増加、業者は郊外に移転し、残るのは単身の高齢者のみのゴーストタウン化が進み、松江市の中心付近でありながらドーナツ化現象のドーナツの穴の部分となりつつある。今後当地にいつまで住み続けられるのか不安であるが、生まれ育ったところであるし、交通の便も

- 良く、静かな環境が保たれているというメリットもあり、どうしたらよいか考えている。(男性・60代)
- 43・県道が特に狭い。(バスが来ると通れない) 早急な対策を望む。(男性・60代)
- 44・町内会活動の負担が一部の人に偏っている。人材発掘育成のための仕組みづくりが必要。(男性・70代)
- 45・番地が同じ。(男性・60代)
- 46・幸町の私道について、私どもの家の通路について。橋北から通学してくる学生が私どもの私道を勢いよく自転車で行きまして、時には大声を出したりして困っています。ときどき庭に出て静かにゆっくり走るよう言っておりますがどうしたらよいでしょうか。(地図あり)(女性・80代)
- 47・地域町内会はよく活動をしておられると思う。しかし高齢者を中心に暮らしは楽ではない。組単位になっていきますので、組を単位とした声の掛け合い運動とか、何かのときは誰が誰の援助をするとか、町内会が中心となって指導をしてもらえばと思う。組単位でいい経験をしておられる組があれば皆さんに聞いてもらい参考にしながら組活動を中心とした取り組みが必要だと思う。幸町も世帯が少なくなってきましたが、少しでも楽しい町、住んでよかった町になるよう私も協力したい。みんなで話し合いながら少しでも暮らしやすい町にしてください。25日の組長会はほとんど報告のみせっかくみんな参加しているからいい話を一つでも二つでも知らせてもらえれば喜びます。みんなで協力し合いましょう。(男性・70代)
- 48・空き家が増え、草が生えて荒れている箇所があり、定期的に草刈をお願いしたい。(女性・50代)
- 49・町内で防災訓練を実際にやっておきたい。1年に2回ぐらいでも。老人が多いから老人にできる訓練を指導してほしい。おおまかにテレビ等から情報を受けているけど。(女性・70代)
- 50・正直、鑿行列のイベントがとても苦である。神事でもないのにとってしまう。せめて雨の場合は中止に。又好きで仕方がない、毎年でもやりたいという方々で開催してもらった方が迫力あるものになると思うが。その他の行事については参加したいと思うが、忙しさの中では思うようにいかず、スケジュールが合わないため申し訳なく思っている。(女性・60代)
- 51・クリーン松江などの奉仕活動には大勢の町民が参加されますが、高齢の方がほとんどです。若い人の参加を希望します(男性・60代)
- 52・天神橋南詰交差点の北東側橋のたもとにカーブミラーを設置してほしい。県営住宅方面から天神川沿いに出てくる車が多く、豎町方面からの歩行者、車が見えるカーブミラーが必要(女性・30代)
- 53・他人のことに口出しし過ぎず、さりげなく助け合う関係が、長続きすると思う。(女性・70代)
- 54・高齢化が心配です、他人ごとではないです。(男性・70代)
- 55・自治会への加入促進。(女性・70代)
- 56・自治会入会者が余りに少ない。どうしたら増やせるでしょうか。(女性・70代)
- 57・私は健康で好きに動けるのでさほど悩みはないです。出来る事があればお手伝いしたいです。(女性・40代)

- 58・新しい方が町内会に入りやすい雰囲気づくりを意識した町内会活動を考え、試行していくことが大切ではないでしょうか。(女性・40代)
- 59・新しい事に取り組む力がない。活気は感じないので静かに暮らせる。(女性・40代)
- 60・歴史や原発等を抱えていることが多いのかと思います。(女性・40代)
- 61・出来れば少しずつ景観を良くしていただけたらと思う。(女性・70代)
- 62・個人個人の考え方に隔たりがあり、平和な日常の時だからこそ、何かあった時のことを考える必要がある。公民館などから話し合いの輪に入ることができるシステム作り。(男性・60代)
- 63・地域でお互いに助け合うためには、まず挨拶から始め、お互いを知ることから始まるのではないかと思う。皆が気軽に参加できるような行事をとおして、仲良くできるようになればと思う。(女性・40代)

以上

ご協力ありがとうございました。

福祉活動は、私たちが「しあわせ」になるための取組み。

心の だんの らしの あわせ